

## 循環器内科 初期研修プログラム

### 必ず習得するアウトカム

1. 患者・家族・医療他職種と水平で良好な関係を構築できる。
2. 急性冠症候群や心不全、不整脈などの循環器救急疾患に対する初期対応（病歴聴取から治療方針の決定まで）ができ、治療の効果・副作用の評価ができる。
3. 入院患者の日々の容態の変化を観察し、身体所見・検査所見から病態を考察し、治療方針を決定できる。
4. 心電図や心エコー検査を自ら実施・解釈し、循環器内科特有の検査（心臓カテーテル検査、心臓核医学、MRI、冠動脈 CT）を解釈し病態把握に資することができる。
5. 冠インターベンションやカテーテルアブレーションなどカテーテルを用いた治療の適応と治療内容を理解する。
6. 外科的適応を理解し、外科チームとの連携の重要性を認識すると共にその実際に関わる。

### 研修目的

循環器疾患を有する患者の病態を把握し、指導医の指導の下で診断から治療までのプロセスに深く参画することにより、急性期疾患を担う医師としての臨床力を養う。

### 研修目標

#### ◇ 一般目標

- ・循環器科診療に必要な基本的知識、主要疾患に関する診断・治療の基本的技術を学ぶ。
- ・救急の事態発生にも直ちに対応できる技術および態度を習得する。
- ・循環器疾患に留まらず、全身臓器、他臓器疾患との関連を十分考慮した診療態度を習得する。

#### ◇ 行動目標

- ・入院患者の診療を行い、治療方針を立てることができる。
- ・外来救急患者の初期診療を行うことができる。
- ・検査の原理を理解した上で、適切に検査を選択実行し、その結果を解釈できる。
- ・侵襲的検査の適応を理解し、その結果を解釈できる。
- ・侵襲的処置の適応を理解し、その原理に習熟する。
- ・手術の適応を理解し、その原理を理解する。
- ・標準的救命救急処置法を理解し習得する。

#### ◇ 研修期間中に経験可能な疾患・疾病、および手技

##### 経験する疾患

急性心筋梗塞：2例、狭心症：5例、うっ血性心不全：10例、心臓弁膜症：5例、不整脈疾患：3例、心筋疾患：3例

## 経験できる手技

動脈血採取：3例

心エコー：10例

カテーテル検査：5例

中心静脈カテーテル留置：1例

## 研修方略

- ・ 医療面接法，診察手技はシミュレーションの後、指導医の観察指導のもと日々の臨床研修で実習する。
- ・ 検査ならびに疾患・治療方針・手術法の原理は、指導医の観察指導のもと日々の臨床研修で実習する。
- ・ 侵襲的処置（点滴・動脈静脈ルート確保等）は、指導医の指導のもと日々の臨床研修で実習する。
- ・ BLS、ACLS研修に積極的に参加する（BLSは必須とする）。
- ・ 緊急入院患者の治療には特に積極的に参加する。

## 研修評価

医療面接法，診察手技：研修期間中：シミュレーション，観察，医療面接にて診察，診断，治療方針の決定プロセスの評価

検査・疾患・治療方針・手術法の原理：研修終了時：レポート，心臓超音波検査（経胸壁）の実技評価

侵襲的処置（点滴・動脈静脈ルート確保等）：研修期間中：シミュレーション，観察

## 週間予定表

	午前	午後	夕方
月	心臓血管外科との合同抄読会	病棟診療、心臓超音波検査	看護師との病棟症例カンファランス
火	心臓外科との合同カンファランス、病棟診療、心臓カテーテル検査 トレッドミル検査	心臓カテーテル検査	心臓カテーテル検査
水	病棟診療	冠インターベンション 末梢動脈血管内治療 経食道エコー	冠インターベンション 末梢動脈血管内治療 症例カンファランスと回診
木	病棟診療 カテーテルアブレーション	心臓カテーテル検査 冠インターベンション カテーテルアブレーション	心臓カテーテル検査 経食道エコー
金	病棟診療 カテーテルアブレーション	カテーテルアブレーション	シネカンファランス、 症例カンファランスと回診

## 指導責任者および指導医

指導責任者：小丸達也(こまるたつや)昭和57年卒：

資格：日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医・臨床研修指導医  
日本循環器学会認定循環器専門医、厚生労働省「指導医講習会」臨床研修  
指導医、日本医師会認定産業医、日本循環器学会東北地方会評議員、日本  
医師会認定産業医

指導医：

- 1) 熊谷浩司 (くまがいこうじ) 平成8年卒  
資格：日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・臨床研修指導医、日本循環器学会認定循環器専門医、日本不整脈心電学会認定不整脈専門医・ICD/CRT研修終了・評議員
- 2) 中野陽夫 (なかのたかお) 平成4年卒  
資格：日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・臨床研修指導医、日本循環器学会認定循環器専門医、日本心血管インターベンション治療学会専門医、CVIT 認定医
- 3) 菅井義尚 (すがいよしなお) 平成8年卒  
資格：日本内科学会認定内科医、総合内科専門医・臨床研修指導医、日本循環器学会認定循環器専門医、厚生労働省「指導医講習会」臨床研修指導医、日本不整脈心電学会認定不整脈専門医・ICD/CRT研修終了
- 4) 山家実 (やんべみのる) 平成10年卒  
資格：日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・臨床研修指導医、日本循環器学会認定循環器専門医、厚生労働省「指導医講習会」臨床研修指導医、日本高血圧学会高血圧専門医・高血圧指導医、日本医師会認定産業医
- 5) 亀山剛義 (かめやまたけよし) 平成15年卒  
資格：日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・臨床研修指導医、日本循環器学会認定循環器専門医、厚生労働省「指導医講習会」臨床研修指導医  
日本心血管インターベンション学会認定医
- 6) 関口 祐子 (せきぐちゆうこ) 平成15年卒  
資格：日本内科学会認定内科医・総合内科専門医、日本循環器学会認定循環器専門医、日本心臓リハビリテーション学会認定心臓リハビリテーション指導士
- 7) 住吉剛忠 (すみよしたけのり) 平成15年卒  
資格：日本内科学会認定内科医・総合内科専門医、日本循環器学会認定循環器専門医、厚生労働省「指導医講習会」臨床研修指導医、日本不整脈心電学会認定専門医・ICD/CRT 研修終了
- 8) 菊田寿 (きくたひさし) 平成16年卒  
資格：日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・臨床研修指導医、日本循環器学会認定循環器専門医、厚生労働省「指導医講習会」臨床研修指導医
- 9) 長谷川薫 (はせがわかおる) 平成21年卒  
資格：日本内科学会認定内科医・総合内科専門医、日本循環器学会認定循環器専門医、厚生労働省「指導医講習会」臨床研修指導医
- 10) 黒瀬裕樹 (くろせひろき) 平成27年卒  
内科専攻医

学生(4~6年生)や他科研修中研修医のカンファレンスの参加の可否

参加可 ・  参加不可

研修医発表会、学会発表に対する指導体制

指導医の指導の下に、担当患者の症例をまとめ、積極的に学会・研究会での発表を行う。

同時期に受け入れ可能研修医数 (1 クール : 3 ヶ月)

2名 / 1 クール